

今治市学生まちづくり活動応援事業 活動報告(2021 年度)

団体名 野生鳥獣リスクマネジメント学 (VeWRM)

◎VeWRM ってどんな団体？

近年、全国的に野生鳥獣による鳥獣被害が問題となっています。今治市も例外ではなく、ミカン畑などの農作地がイノシシによって掘り返しの被害などたくさん受けています。そのような被害を獣医学部の学生と今治市民が協力することで少しでも軽減できないかと考え、VeWRM は設立されました。

2021 年度は伯方島猟友会様のご協力の下、伯方島で①トレイルカメラによるイノシシの行動調査、②罾周辺の環境調査、③人獣共通感染症、キノコについての市民公開講座の開催を実施することができました。

①トレイルカメラのデータ回収

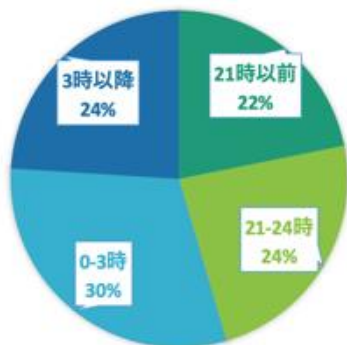
伯方島内にしかけられた罾周辺にカメラをしかけて、夜間のイノシシの行動を記録しました。

この画像には親子のイノシシが写っています。親イノシシは四肢とお尻が泥まみれになっているので、ここに来る前にヌタ場（イノシシが遊ぶ泥場）にいたことがわかります。一方子イノシシは親イノシシに比べて奥の罾に警戒心がなく近づきやすいこともわかります。このように画像をたくさん解析することで、罾近くでどのような行動をしているか理解でき、捕獲率向上の助けになると考えています。

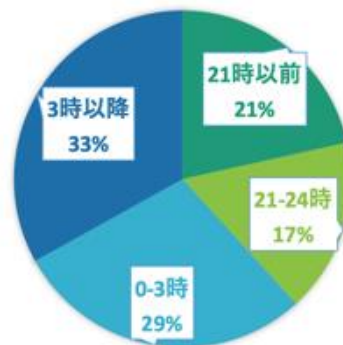


トレイルカメラから回収したデータを整理し、リアルタイムに今治市伯方島の有害鳥獣対策室や猟友会へ共有し鳥獣被害対策へ役立てていただいております。また、情報を分析することにより、動物の出没時間帯や、月ごとにどのような動物が多く現れているかも把握することができました。

イノシシ出現時間帯

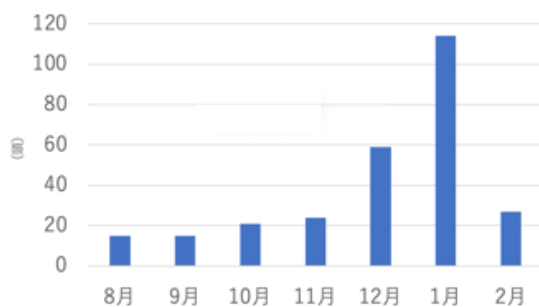


タヌキ出現時間帯

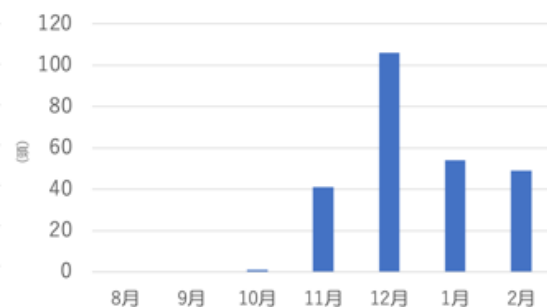


カメラトラップによるイノシシおよびタヌキの出現時間帯
(2021年8月23日～2022年2月19日)

月別イノシシ検出個体数



月別タヌキ検出個体数



カメラトラップによるイノシシおよびタヌキの出現数
(2021年8月23日～2022年2月19日)

②罾周辺の環境調査



罾周辺のイノシシの痕跡調査を行いました。この写真はイノシシがヌタ場で遊んだあとの泥のあとを竹に見つけたところです。他にも足跡、獣道、糞などの痕跡のマッピングを行いました。

ここからイノシシが罾にどのような経路で近づいているか推定し、罾の設置場所（向きや餌の置き方による誘導）の改善などの提言を猟友会の方々へすることができました。

③市民公開講座の開催

伯方島で市民公開講座を開催し、慶應義塾大学の糟谷大河先生からイノシシの食性のひとつであるキノコについて、岡山理科大学の楢田龍星先生から人獣共通感染症についてオンラインで講演を行っていただきました。身近な自然についての内容であったことも関係して、たくさんの質問や意見交換がされ白熱した市民公開講座になりました。自然の面白さと人獣共通感染症の怖さの啓発ができたのではないかと考えています。

以上が活動報告となります。

今回の活動は今治市学生まちづくり活動応援事業として行われました。この活動を通して、今治市民の方と連携し、今治市の鳥獣被害の軽減に貢献できたなら嬉しいです。

この場をお借りして、今治市、伯方島猟友会の方々、今治市民の方々へお礼を申し上げます。

【主催】岡山理科大学獣医学部 「野生鳥獣リスクマネジメント学」

全開！きのこワールド & ダニワールド～伯方島編～

日 時：2021年12月22日 18:00～20:00
場 所：農村環境改善センター（伯方町北浦甲2178番地）
参加費：無料
申し込み：新型コロナウイルス対応のため、定員50名とさせていただきます。
問い合わせ先 岡山理科大学 小野文子 f-ono@vet.ous.ac.jp
伯方支所有害鳥獣対策室 西部信也

備 考：マスク着用と体温測定を行わせていただきますので、何卒ご了承ください。

伯方島は美しい海と自然豊かな山々に囲まれた素晴らしい島です。食卓に彩りを添えるきのこ、そして野生動物とヒトへ感染症を媒介するダニの生態を知り、伯方島での安全で豊かな生活のお役にたてればと考え、きのこの専門家とダニの専門家による講演を企画しました。ぜひ、ご参加ください。



ダニの専門家
岡山理科大学
楢田龍星先生



きのこの専門家
慶應義塾大学
糟谷大河先生



イノシシのダニ in 伯方島





マンネンタケ in 伯方島

本講演会は「今治市学生まちづくり活動応援事業」の支援を受け開催いたします。